資　料　提　供	
令和2年6月4日	
担当課 （担当者）	県立博物館　学芸課 福代･大嶋
電　話	0857－26－8044

企画展「 輝いていた６０’ｓ １９６０年代のスポーツと生活文化」の開催 並びに 内覧会について

「東京オリンピック２０２０」の開催を契機として、県立博物館企画展を下記のとおり開催いたします。
ついては、記者内覧会を行いますので、県民の皆様にひろく周知するため、ぜひ取材いただきますようお願いいたします。

記

記者内覧会　：　６月５日（金）午後３時３０分から午後４時　会場：県立博物館第１、２展示室

１　趣　旨

昭和３９年（１９６４）、アジア初のオリンピックとなった東京オリンピック前回大会はこの時代を象徴する国民行事であったといえます。

昭和３０年代後半から４０年代に高度成長期を迎えた日本の経済は、それまでの伝統的な生活様式を一変させました。これまでの日本の伝統的なものづくりから工場で大量生産されるようになり、日本の住宅事情、夢のマイカー時代、お茶の間へのテレビの浸透など生活様式や社会状況は変容しました。５６年経った現在の日本の発展もこの時代から始まったといっても良いでしょう。

本展では、日本と鳥取県の１９６０年代の出来事、当時の生活資料を紹介します。そして、日本有数の昭和家電コレクターである冨永潤さん（三重県伊賀市・昭和ハウス館長）のコレクションを展示し「６０年代」を知る世代には懐かしく、知らない世代はわくわくする、ひと昔前の豊かな時代「昭和」を体感していただく展覧会にしたいと思います。

２　展示内容

（1）１９６４　（2）鳥取県のオリンピアン　（3）昭和モダン建築　（4）その頃、鳥取県では
（5）わたしの６０年代

３　会　期　令和２年６月６日（土）から同年７月５日（日）まで

４　会　場　**鳥取県立博物館　第１・第２特別展示室**

５　主　催　**鳥取県立博物館**

６　協　力　**公益財団法人鳥取県スポーツ協会**

７　観覧料

一般５００円（前売・20名以上の団体料金３００円）大学生以下、学校教育活動での引率者、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等およびその介護者、７０歳以上の方は減免（観覧無料）

８　関連行事

・６月７日(日)・７月５日(日)「昭和ハウス・冨永館長の昭和レトロ講座」 講師：冨永潤さん（昭和ハウス館長）
・６月１４日(日)　講演会「鳥取県のオリンピアン―陸上競技選手を中心に―」
講師：油野利博さん（鳥取大学名誉教授・公益財団法人鳥取県スポーツ協会名誉会長）
・６月２１日(日)　講演会「オリンピックがくれたもの」講師：大杖正彦さん（札幌オリンピック出場スキー選手）
・６月２８日(日)　歴史講座「６０年代の鳥取市街地をぶらり」講師:当館学芸員